御意見	回答
<p>【御意見 1】 改正に賛成するが、国の対応が遅すぎる。</p> <p>水道水の基準は平成 15 年に改正されていたにもかかわらず、20 年も遅れての基準見直しは行政の怠慢であり遅れの原因究明を行い、このような大幅遅延を引き起こさないような対応の実効が必須。</p> <p>そもそも水道の鉛濃度は鉛管の使用を考慮したものであり、ミネラルウォーターの基準としてこのような背景を有する基準値を採用したのが間違いであったので、早急に基準変更を必須化していただきたい。</p>	<p>【回答 1】 食品の規格基準については、厚生労働省が、内閣府食品安全委員会における食品健康影響評価の結果を踏まえ、見直しを図ってきたところでは、今般の改正は平成 15 年 7 月 1 日付で、厚生労働省が内閣府食品安全委員会に諮問を行い、令和 3 年 6 月 29 日付けの評価結果の通知を受けて、行われたものです。</p> <p>また、内閣府食品安全委員会における食品健康影響評価が行われている間も、厚生労働省においては、マーケットバスケット方式によるトータルダイエツトスタディーにて飲料水を含む食品からの鉛摂取量の把握を行い、また、ミネラルウォーター類の含有実態調査を行うなど実態把握に努めてまいりました。</p> <p>ミネラルウォーター類における化学物質等の成分規格の設定等については、平成 22 年 12 月 14 日開催の薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会食品規格部会で決定された「ミネラルウォーター類における化学物質等の成分規格の設定等について」を考慮しつつ行っています。</p> <p>本基準値は、食品健康影響評価にて健康影響に基づく指標値が設定されていないことから、令和 4 年 12 月 26 日開催の薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会食品規格部会の審議を経て、水道法の水質基準値を基準値として採用することが適切であるとされたところでは、引き続き、食品の規格基準の適切な設定及び必要に応じた見直しに努めてまいります。</p>

	<p>詳細については以下を御覧ください。 (令和4年12月26日食品規格部会資料)</p> <p>https://www.mhlw.go.jp/content/11121000/001029803.pdf</p> <p>(食品健康影響評価)</p> <p>https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20030703388</p> <p>(「ミネラルウォーター類における化学物質等の成分規格の設定等について」)</p> <p>https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000000ypmm-att/2r9852000000ypq9.pdf</p>
<p>【御意見2】 本改正に賛成である。 ミネラルウォーター類のうち殺菌又は除菌を行うものについての鉛の成分規格を0.05mg/L以下から0.01mg/L以下に改正するのは適切と考える。 意見は以上である。</p>	<p>【回答2】 御意見をいただきましてありがとうございます。</p>

[内容についての照会先]

厚生労働省 健康・生活衛生局 食品基準審査課
03-3595-2341 (内線 4554)